

Annual Report
2023
KIRIN KODOMO
OUENDAN

全ての子ども達が
自分の未来に踏み出せる場所を創造する



NPO法人
麒麟子ども応援団

2023年度活動報告書

KIRIN KODOMO OUENDAN Annual Report 2023

目次

- 01 代表からの
メッセージ
- 02 私たちの取り組み
- 03 各事業の報告
 - (1) こども食堂事業
 - (2) 学習支援事業
 - (3) 食材支援事業
 - (4) 不登校支援事業
 - (5) 中間支援事業
- 04 財務報告
- 05 メンバーからのメッセージ
- 06 ご支援くださっている
企業・団体の皆様

2023

4月 学習支援事業 まなBellスタート

体験事業 泉佐野ギョーザ開発スタート

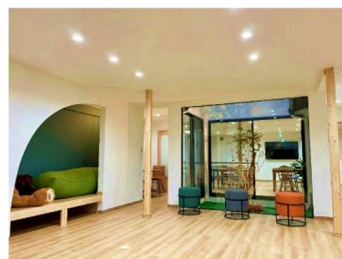
7月 こどもカフェお福 wapi スタート



9月 コミュニティフリッジ泉佐野 開設



11月 まちば拠点 開所



2月 お福 wapi 東京出張

3月 泉佐野ギョーザお披露目



キリンこども応援団は日本財団の「子ども第三の居場所」助成を受けて運営しています。

「子ども第三の居場所」は、すべての子ども達が将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子ども達を対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。



代表からのメッセージ

いつもキリンこども応援団の活動にご支援いただき、ありがとうございます。2023年度の活動報告をお届けいたします。

2023年度は、私たちが支援している困窮状態にある子育て世帯や、不登校の子ども達にとって大変苦境の年でした。

上昇を続ける物価は、困窮状態にある子育て世帯を直撃しています。私達が実施したアンケートの「食事の困り度」の質問では、「月に1回以上食事に困る」という回答をした世帯は29.4%もあり、昨年と比較して困窮度合いが増していることが分かりました（昨年は24.4%）。

生活に苦しむ子育て世帯は、物価上昇に対して収入が追いついていない状況です。

また、文部科学省が発表した小中高生の不登校の人数は、2023年も過去最高を更新しました。学校以外の居場所を広げていくことは喫緊の社会課題となっています。

しかし昨年、ある自治体の首長が「不登校は親の責任」「フリースクールが国家の根幹を崩す」という発言をされました。これは、学校に行けない子ども達、そして家庭の現状が正しく理解されていないということだと感じています。

不登校の子ども達やその家族は心ない言葉をかけられることも多く、社会的な孤立に陥ることがあります。

だからこそ、キリンこども応援団はさまざまな困難を抱える子ども達、そして子育て世帯に対して支援を深めていくと共に、広く社会の皆様へ理解・応援いただけるよう努めていきたいと思っております。

2023年度は全国で10例目となるコミュニティフリッジ泉佐野を開設し、生活に苦しむひとり親家庭に対して24時間の食材支援をスタートすることができました。また、キリンの家の新拠点となる「まちば拠点」を開設し、2校目のフリースクールと共に学習支援をスタートいたしました。

さまざまな支援を通して、「今への支援」と「**未来**への支援」を組み合わせることで、子ども達が自分の未来に踏み出していける場所を作っていきたいと思っております。

どうぞ、これからも応援の程、宜しくお願いいたします。



NPO法人キリンこども応援団
代表理事 水取 博隆

私たちの取り組み

理念

全ての子ども達が
自分の未来に踏み出せる場所を
創造する

私たちは、子ども達が安心して過ごせる居場所を創り、さまざまな体験活動を通して自信をもって自分の未来に踏み出せるよう支援しています。居場所とは空間のことではなく、そこで生まれる人間関係・信頼関係であると考え、子ども達自身が「チャレンジしたい!」と思うことを“一緒に全力で”応援していきます。

ミッション

「今への支援」と「**未来**への支援」

私たちは、全ての活動において、今日を応援する「今への支援」と共に、将来を応援し自立を目指す「未来への支援」を行っていきます。キリンこども応援団だからこそできる、一つひとつの“とびら”を共に開け、最後は自分の進みたい未来に繋がっている「どこでもドア」を自身で開けられるよう支援していきます。

キリンこども応援団の概要 (2024年6月時点)

設立 2018年7月 (法人化 2021年10月)
代表理事 水取 博隆
理事 唐治谷 三智子・井伊 唯・佐野 彩記子・川上 智子・北川 早百合
監事 西村 拓憲
事務局長 竹田 佐織

職員数 28名
事業 ことども食堂キリンの家
学習支援事業まなBell
フリースクールキリンのとびら
オンラインフリースクールclulu
南大阪こども食堂ネットワーク
フードバンク泉佐野 (泉佐野市委託事業)
こども朝食堂 (泉佐野市委託事業)

今への支援



未来への支援



各事業の報告



こども食堂 キリンの家

開催回数 **244**回 参加者(延べ) **3,401**人体験事業 **60**回 泉佐野ギョーザ開発事業・調理体験・宿泊体験・企業コラボなど

学習支援 まなBell

開催回数 **89**回 参加者(延べ) **1,195**人体験事業 **20**回 調理体験・宿泊体験・企業コラボ・性教育など

食材支援 コミュニティフリッジ泉佐野



2023年9月～

登録世帯数 **101**世帯 属する子ども達 **159**人利用回数 **1,800**回 お渡しした食品数 **19,076**品

不登校支援 フリースクール

フリースクールキリンのとびら 在籍数 **30**人オンラインフリースクール clulu 在籍数 **16**人

(1) こども食堂事業 キリンの家



2018年7月に「さのだい子ども食堂キリンの家」として、地域の集会所をお借りして月1回開催でスタートした子ども食堂は6年目の活動となりました。

2023年度は小学生～高校生までの205人が登録し、月16回開催を継続しています。食事提供とおやつ提供の日があり、子ども食堂で遊ぶ子、勉強する子、さまざまな過ごし方で地域の居場所として大人気になっています。

体験事業では、シンガポール航空様やソニー株式会社様、MORIUMIUS様とコラボ事業を実施し、宿泊体験・料理体験・職業体験を実施しました。

また、2023年度の中学生スタッフの体験事業は泉佐野ギョーザの開発に12名が取り組み、新たな泉佐野の名物グルメとして産声を上げました。



(2) 学習支援事業 まなBell



2023年4月から学習支援事業まなBellがスタートいたしました。

本事業は、「学習に遅れがあるものの、塾に通うことができない」「もっと勉強したいが家で学習できる環境がない」など、さまざまな理由で意欲があるものの学習できる環境にない子ども達に対して、学習支援を実施する事業です。本事業は「**未来**への支援」として、コミュニティフリッジ利用世帯やフードパントリー利用世帯に案内を行っています。

毎週2～3回、3時間の学習支援に加えて、食事支援を実施しています。また、体験機会の創出として、調理体験や宿泊体験、職業体験を実施しています。

職業体験では、社会医療法人栄公会佐野記念病院様とコラボし手術体験を実施することができました。



(3) 食材支援事業 コミュニティフリッジ泉佐野



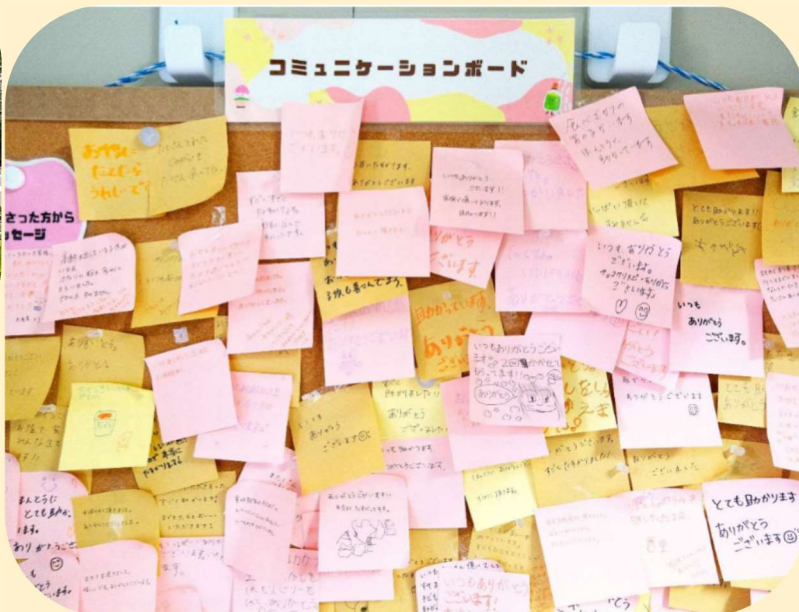
2023年9月からコミュニティフリッジ泉佐野の取り組みをスタートさせました。

コミュニティフリッジとは、登録された子育て世帯が24時間利用することができる無人の食材受け取り倉庫です。日本で10例目の設置となり、対面の食材配布の課題であった「配布時間と場所が限られる」「世帯に合った食材配布ができない」という課題を克服することができました。

対象は、ひとり親世帯に加え、さまざまな事情で行政支援を受けることができない子育て世帯としています（生活保護世帯は対象外）。2024年3月31日現在で101世帯の家庭が登録し、利用開始から19,076品の食材をお渡しすることができました。

日本では、9世帯に1世帯が相対的貧困の状態であるといわれており、ひとり親世帯ではその半分以上が貧困の状況にあります。キリン子ども応援団が毎年実施するアンケート結果からも、貧困世帯の困窮状況は年々深刻化していることが分かります。

登録世帯101世帯で育つ159人の子ども達、そして保護者の方がご飯を食べることに困るという状況がないよう、キリン子ども応援団としてサポートしていきたいと思えます。



利用者からいただいたメッセージ（一部）



働いても働いても厳しい状態なので本当に助かります。
コミュニティフリッジのおかげで家族みんな生きていけます。

普段、チーズやヨーグルトは高価なので、どうしても手が出しにくく後回しになります。ここだと「また今度にしよう」など子どもが欲しいと思うものを止めることなく、「欲しいものを選んでいいよ!」と言ってあげられるのが本当にありがたいです。



(4) 不登校支援事業 フリースクール



不登校支援事業として、「フリースクールキリンのとびら」・「オンラインフリースクール clulu」を継続して運営することができました。また、2023年11月には新拠点「まちば拠点」を開設し、フリースクールキリンのとびらは2拠点運用となりました。

2024年3月には、全事業で11名の子ども達が中学卒業を迎え、それぞれ卒業式も開催いたしました。キリンのとびら卒業式には、在校生や保護者の方だけではなく、泉佐野市長 千代松大耕様、在籍する学校の先生方にもご出席いただきました。私たちが大事にしてきた「保護者・学校・フリースクールの3者が連携し、子どもを包み込んでいこう」という思い・行動が少しずつ実を結びつつあるように思います。フリースクールが出席扱いをとるための手段とならず、学習環境・体験機会の格差を埋め、子ども達がチャレンジできる居場所として活動していきたいと思えます。

また、フリースクールキリンのとびらの子ども達は職業体験「こどもカフェお福 wapi」を実施し、オンラインフリースクール clulu の子ども達はオンライン絵画展やオンライン文化祭など、さまざまな体験活動を実施することができました。

なお、不登校の子ども達を育てる保護者の会である「親の会」を年6回開催し、9月には不登校講演会として漫画家の棚園正一氏をお招きして講演会を開催いたしました。



(5) 中間支援事業 子ども達の居場所を増やすために

2022年に泉佐野市から運営委託でスタートしたフードバンク泉佐野は、2023年度において96団体より年間36.0トンもの食材をご寄付いただき、50団体の居場所運営団体にお渡しすることができました。

また、キリンこども応援団は、地域で子ども達の居場所がもっと増えるよう中間支援の活動を進めています。フードバンクの活動で食材をお渡しすることに加えて、運営の相談やノウハウを共有できるよう2023年12月に「南大阪こども食堂ネットワーク」を立ち上げました。本ネットワークは、高石市～岬町までの子ども食堂運営者が登録し、定期的なミーティングで課題解決を図るものです。また2023年度は当団体として初となる補助金の交付も実施いたしました。特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・おすびえ様の補助金をいただき、登録団体に対して年始年末の食事・食材支援として10団体にそれぞれ2万円を交付いたしました。

泉佐野市からの委託事業であるフードバンク事業と、自主事業であるネットワーク事業を中間支援事業と位置付けて、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



フードバンク泉佐野

寄付企業 **96**団体

取扱い数 **36.0**トン



財務報告

<2023 年度活動計算書>

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日まで

科目		金額	
経常収益	受取会費	50,000	
	受取寄付金	6,549,009①	
	地方公共団体等受取補助金	2,170,000②	
	民間団体等受取補助金	71,509,000③	
	事業収益	34,963,492④	
	その他収入	253,894	
経常収益合計		115,495,395	
経常費用	(1) 事業費		
	給与手当/法定福利費	11,546,324⑤	
	旅費交通費	1,328,418	
	通信運搬費	874,023	
	消耗品費/事務用品	4,474,027⑥	
	印刷製本費	78,760	
	保険料	66,240	
	諸謝金	595,686	
	雑費	145,557	
	活動費	6,679,651⑦	
	賃借料/地代家賃	1,606,940	
	光熱費	428,687	
	外注費/修繕費	6,546,811⑧	
	広告費	20,944	
	交際費	9,370	
	会費/会議費	318,222	
	支払手数料/支払助成金	302,065	
	減価償却費	1,211,347	
	事業費合計	36,233,072	
	(2) 管理費		
	給与手当/法定福利費	13,610,444⑨	
	その他経費	3,836,967	
	管理費合計	17,447,411	
	経常費用合計		53,680,483
	当期経常増減額		61,814,912⑩
	税引前当期正味財産増減額		61,814,912
	法人税、住民税及び事業税		646,000
当期正味財産増減額		61,168,912	
前期繰越正味財産額		28,118,719	
次期繰越正味財産額		89,287,631	

①受取寄付金

前年から約 120 万円の増収。この内 350 万円がマンスリーサポーターからのご寄付であり、2023 年度当初より 10→38 名となり多くの皆様に支えていただきました。

②地方公共団体等受取補助金

大阪府・泉佐野市からの補助金が含まれています。補助金で不登校講演会の開催や、フリースクールの授業料減額を実施しました。

③民間団体等受取補助金

公益財団法人日本財団様・独立行政法人福祉医療機構様・公益財団法人キュービーみらいたまご財団様・公益財団法人電通育英会様・特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ様・一般財団法人チャイルドサポートとくしま様が含まれます。なお年度を跨ぐ補助金や次年度の補助金も一部含まれます。

④事業収益

こどもカフェお福 wapi の物販収益、フリースクール月謝や行政委託であるフードバンク泉佐野・こども朝食堂(3校)の委託費が含まれます。

⑤給与手当/法定福利費(事業費)

職員 3 名を正社員として雇用しました。また委託事業を含めて合計 18 名の職員の人件費が含まれます。

⑥消耗品/事務用品費

非常に大きな金額になっているのは 2023 年 9 月に開所したコミュニティフリッジ、11 月に開所した新拠点の消耗品や備品が含まれるためです。

⑦活動費

子ども食堂やフリースクールの活動費が約 300 万円(こどもカフェ東京出張含む)、こども朝食堂など委託に係る活動費約 360 万円が含まれます。

⑧委託費

オンラインフリースクール clulu の講師委託費や非認知能力アドバイザー委託、新拠点の設備工事委託費が含まれます。

⑨給与/法定福利費(管理費)

役員報酬(水取給与)と経理・総務・労務・法務・広報等を担う管理部門スタッフ 4 名の人件費が含まれます。全体のスタッフ数も増え、管理業務が増加した 1 年でした。

⑩当期経常増減額

新拠点の改修として 4,300 万の補助金をいただいたため大きな金額が残ったように見えますが、全額支払い済みであるものの支出は一括で経費計上されず、減価償却として少しずつ計上されるためです。(次年度に繰り越す活動資金は前期繰越を含め 48,178,002 円となります)

経営指標について

① 達成 無収入寿命 6 か月

1 円も稼げなかったとしても NPO として活動継続できる期間(無収入寿命)6 か月を達成。外部環境の変化に耐えやすくなりました。

② 達成 次年度資金確保率 10%

次年度の活動資金を 2000 万円確保できたことで、次年度のスムーズなスタートが可能になりました。

メンバーからメッセージ

皆様のご支援により、生きづらさを抱える子ども達やご家族にとっての居場所であるキリンのとびらを大切に守り続けることができました。新たにまちば拠点という居場所を設けられたこともひとえに皆様がいてくれてこそ。心より感謝申し上げます。これからも子ども達の背中を一緒に押していただければ幸いです。



フリースクールキリンのとびら 責任者
唐治谷 三智子

「想くん、この場所を作ってくれてありがとう」cluluに入学してくれた生徒が自ら伝えてくれた言葉です。一人一人が様々な思いを抱え生きる中で、ここで出会い、心を共有し、共に成長していきます。全国の同じ気持ちを抱えたお子様と出会うことは大きな財産になります。一人一人に寄り添い、心のケアも全力でサポートしていきたいと思えます。



オンラインフリースクール clulu 校長
篠田 想

フードバンクでは寄贈団体様もお渡しする団体も増えてきました。コミュニティフリッジではひとり親世帯との繋がり、南大阪子ども食堂ネットワークでは各地域の子ども食堂運営者との繋がりなど、それぞれの「繋がり」の先には子どもたちの笑顔があります。これからも繋がりを育てていきたいと思えます。



フードバンク泉佐野 責任者
川上 智子

2023年度も当団体を支えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。今後もより一層団体の活動を多くの方々に知っていただき共感いただけるよう発信してまいります。子ども達が安心して居場所、チャレンジできる居場所を大切に継続してまいります。



法人事務局 事務局長
竹田 佐織

みなさまの温かいご支援により2023年度もキリンの家は子どもたちにとって自分らしく過ごせる場所・安心できる居場所としてあり続けることができました。また、子ども達の大きな挑戦をサポートすることができ、子ども達自身が新たな自分を発見する場にもなれたことを嬉しく思います。



子ども食堂キリンの家
井伊 唯

2023年度もたくさんの応援をありがとうございました。1年間を通してたくさんの経験と出会いがありました。これからも経験を活かし、子ども達を全力で応援していけるよう日々活動していきます！



フリースクールキリンのとびら
太田 貴之

子ども朝食堂をきっかけに朝早く起きるようになった！授業に集中できるようになった！との子ども達の声をたくさんいただき、大変嬉しく思っております。子ども達が笑顔になれる！元気がわいてくる！そんな朝ごはんをスタッフみんなで作っていきたいと思います。



子ども朝食堂担当
持田 かの子

日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。2023年度も多くの方から応援のお言葉を頂戴し、またメディアからも多数のお問い合わせをいただくことができました。今後もご支援くださる皆様の温かいお気持ちを胸に刻み、精一杯活動に励んでまいります。



法人事務局 広報担当
齋藤 麻智子

いつも温かいご支援をありがとうございます。2023年度も子ども達は体験事業で貴重な経験がたくさんでき、充実した日々を過ごすことができました。秋に開所したまちば校も多くの方に応援していただき、今では子ども達の笑顔あふれる居場所となっております。



フリースクールキリンのとびら
佐野 彩記子



ありがとうございました！

ご支援くださっている企業・団体の皆様

2023 年度も本当に多くの皆様からご支援いただき、ありがとうございました。

ご支援くださる皆様のおかげで活動を続けていくことができます。

本ページでは、2023 年度中にご寄付くださった企業・団体様を掲載させていただきます。



株式会社ニシハタシステム
株式会社 cielo azul
株式会社 天国
泉佐野中央ライオンズクラブ
カーショップ ガイダンス
医療法人永康会若松歯科医院
関西聖地霊園
第一生命労働組合 堺支部
その他匿名多数

株式会社情報都市
株式会社 アクア
株式会社 カネイ
株式会社 MSY ロジ
杉本シャッター工業
医療法人たなか歯科医院
株式会社 blow-in
株式会社 インフィニティ

株式会社石常石材店
一般社団法人大阪ブランディング
株式会社アイビーティージェイ
株式会社田中商事
株式会社 Le Creation
ナンカイ工業株式会社
オーティ工業株式会社
いば青果

株式会社街クリエイション
コンフォート・アソシエイツ有限会社
株式会社あさひ賃貸住宅
森山クリニック
イベントファクトリー杉谷
株式会社メイク
一般社団法人にぎわい夢創りプロジェクト
明治安田生命保険相互会社
敬称略・順不同

ご寄付いただいている個人の方のお名前はホームページに掲載させていただいております。



NPO法人

キリン子ども応援団

～子ども達が未来に踏み出せる場所を創造する～

TEL : 072 - 429 - 9511 E-mail : kirinkodomo@kirin-npo.com

Head office 大阪府泉佐野市若宮町 9-3 (〒598-0055)

公式HP

